



窓から見る景色は霞み、通勤時に肌に当たる風の冷たさも和らいできました。自然の変化に春の訪れを感じずにはられません。

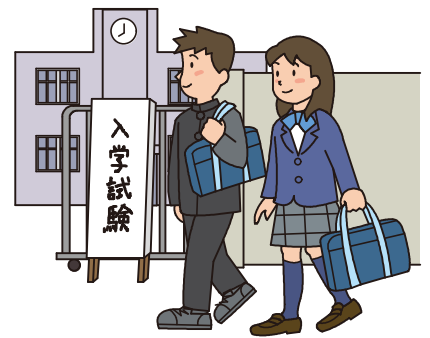
気持ちも弾む春が来た！

少し暖くなった朝、霞んだ街の空気を感じると、私は今でも大学入試の朝を思い出します。冬から春に移り変わろうとしていて冬と春が微妙に混じり合い、少しずつ春に近づいていく独特の空気感が、私の中では入試に向かう朝の風景とリンクし、春が来るなあといつも感じるのです。

先週の土曜日3月5日は啓蟄（けいちつ）でした。啓は「ひらく」、蟄は「土中で冬ごもりしている虫」の意味で、大地が暖まり冬眠していた虫が春の訪れを感じて穴から出てくる頃を表す24節季中のひとつです。天気予報を見ていると、寒暖を繰り返しながら少しずつ暖かくなっていくのがわかりますね。

暖かくなると動き出すのは越冬している虫だけではなく、私たちの心もなんとなく前向きになれる気がします。日本では春が新学期の時期です。道ばたに花が咲き始め、私たちも新しい気持ちで何かを始めたくくなります。

さて、明日からは県立高校の入試が始まります。在校生のみなさんも入試の時にはドキドキしながら高校へやって来たことと思います。合格したらこんなことをやってみたい、あんなことにもチャレンジしてみたい、と夢を膨らませていたのではないのでしょうか。振り返ってみてどうですか。日々の成長はわずかずつですが、1年、2年過ぎてみるとずいぶんと成長できたことに気づくことでしょう。次のステップに進むために、この期間を有効に活用して理解不足のところを補うなど4月に向けた準備をしておきましょう。



受検生のみなさんは、米工で専門力を高めたスペシャリストとして生き生きと学ぶ姿を、また部活に打ち込む姿をイメージしながら入試に全力を尽くしてください。自分の未来のイメージを持つことは自分の進むべき方向を示してくれます。また、頑張ろうというエネルギーになります。先輩たちと共に工業のスペシャリストとして成長し、米子のものづくり文化を支えていきましょう。受検生のみなさんの健闘を祈ります。

校長 松川明義



今週は入試業務のため、米工MAKERSはお休みします。次回は来週月曜日です。